



# 島根労働局 安全衛生労使専門家会議

令和4年1月19日(水)  
テクノアークしまね

島根労働局では、「令和3年度島根労働局安全衛生労使専門家会議」を開催しました。本年度の会議は、「高齢労働者の労働災害と転倒災害の防止」をテーマとし、エイジフレンドリーガイドラインやSTOP！転倒災害プロジェクト、事業場の取組として、社会福祉法人仁摩福祉会しおさい様の取組を説明していただき、出席6名の委員により意見交換を行いました。

## 【社会福祉法人 仁摩福祉会 しおさい 様の取組】

平成25年度から27年度に、休業を伴う腰痛災害が多発したことをきっかけとして、労働安全コンサルタントの安全衛生診断を受けられ、安全衛生事務局の設置、4S、腰痛健康診断、見える化などの取組を進めるほか、介護ロボットの導入や健康管理アプリの導入などを図り、着実に労働災害が減少し、安全で安心して働くことができる職場づくりがなされています。

## 労働災害と転倒災害の防止に係る 取組について

高齢労働者への対応



社会福祉法人仁摩福祉会 しおさい  
白枝 敏子

## 安全への取り組み

介護ロボット HAL



人が体を動かすときに脳から筋肉へ送られる信号、“生体電位信号”を読みとってHALは動く。ベッドから車いすへの移乗介助・体位変換介助の動作などの負荷について医学的解剖学的観点から解析・シミュレーションし、腰部への負荷をより低減できる。約3kg



## 【まとめ】

委員からは、労働災害をもっと詳細に分析することにより、より具体的な対策を事業場に指導すること、労働者個人の運動機能向上のための取組が必要であること、職場の環境改善の必要性などの意見をいただき、ご意見を参考とし、今後の行政施策や指導の際に反映することとしました。